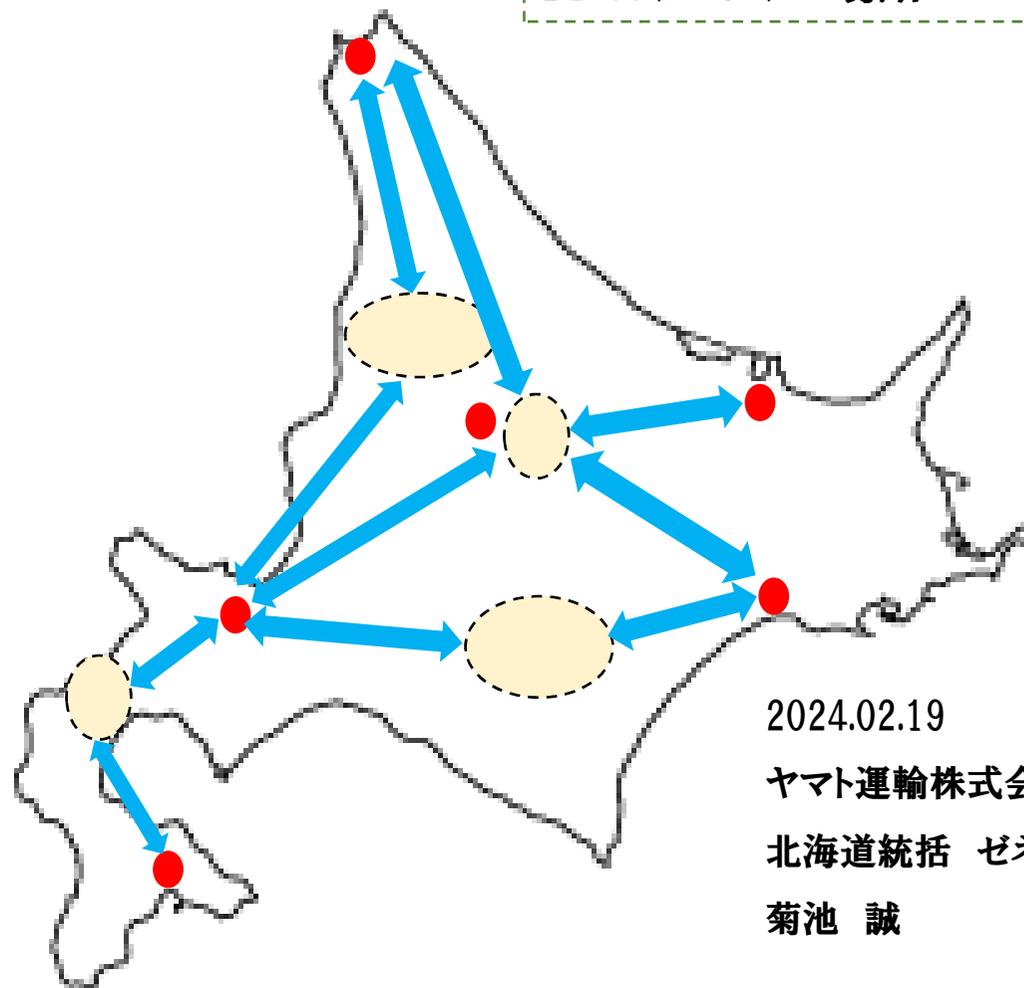


# 「リレイプレイス北海道(仮称)」構想

## 中継輸送専用施設の実現に向けて

Relay(リレイ)・・・中継  
Place(プレイス)・・・場所



2024.02.19

ヤマト運輸株式会社

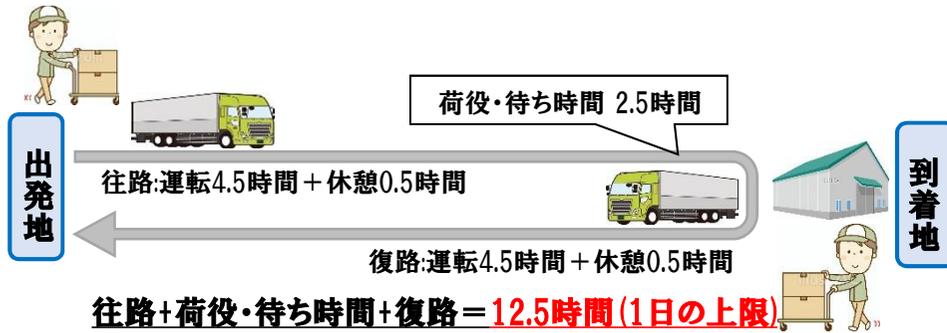
北海道統括 ゼネラルマネージャー

菊池 誠

# 1.北海道の物流業界の問題と対策

## ①2024年問題＝働き方改革関連法の適用

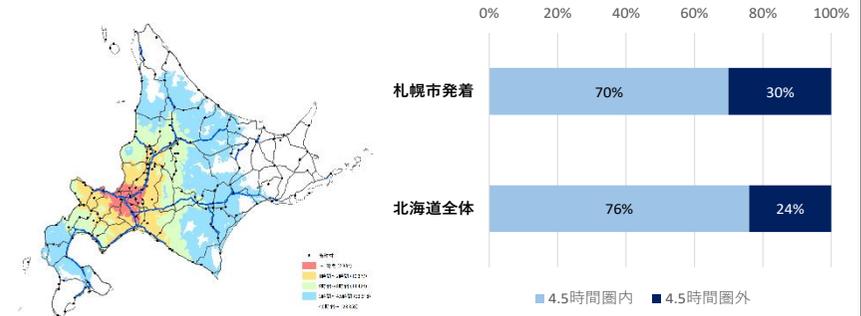
- 時間外労働、拘束時間等の制限で走行距離が削減される  
(1人当たりの走行距離が削減されることでドライバーの需要が増加)
- 1日当たりの労働時間(拘束時間)は平均12.5時間程度が上限、荷役・待ち時間を含めると**片道4.5時間以上の物流に影響**



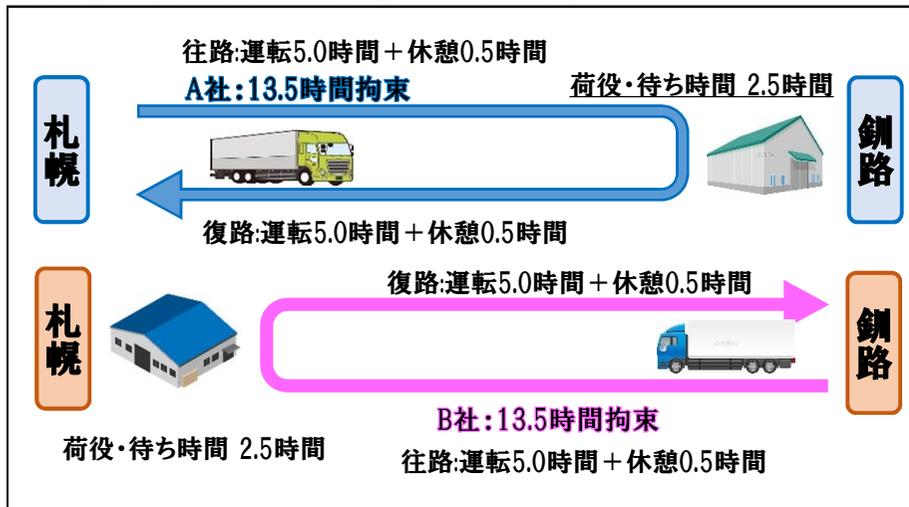
## ②2024年問題の影響を受ける北海道の物流

- 片道4.5時間/日以上となる貨物流動に影響し遅延やコスト増が想定
- 札幌市発着⇒30%    ○北海道内全体⇒24%

▼札幌市起点の所要時間圏域



## 課題解決に向けて加速すべき取り組み



## ③中継輸送による2024年問題解決の概念

- 貨物交換やドライバーを交代する**中継輸送**により、効果的に労働・拘束時間の上限を遵守し、現状の物流水準を堅持
- ※中継ポイントを真ん中とした場合の効果



## 2.北海道開発局との中継輸送実証実験

- ◎ 2023年の実証実験では、名寄北ICに保管用シャーシをあらかじめ物流拠点と想定し設置、枝幸発のトラックと地元の農家が保管用シャーシに荷物を積み込み、札幌まで共同輸送。今までの実証実験より一層実運用に近づいた取り組みだった。2024年問題を目前にして、中継輸送の重要性への認知が広がり、中継ポイントの構築が進んでいる。

### <参考>

- ・2023年9月には、センコーグループホールディングス(株)が新東名高速道路 浜松SAにトラック中継輸送専用の大型施設(駐車可能数50台、一時保管設備、休憩施設、シャワー室、仮眠室を完備、中継輸送専用施設では初となる3温度帯の大型倉庫も建設予定)
- ・2023年7月には、東日本エア・ウォーター物流が盛岡に3温度帯対応の中継を目的とした倉庫を開設

北海道でも早急な中継輸送の実運用化が求められる

シャーシ交換の様子



保管用シャーシ



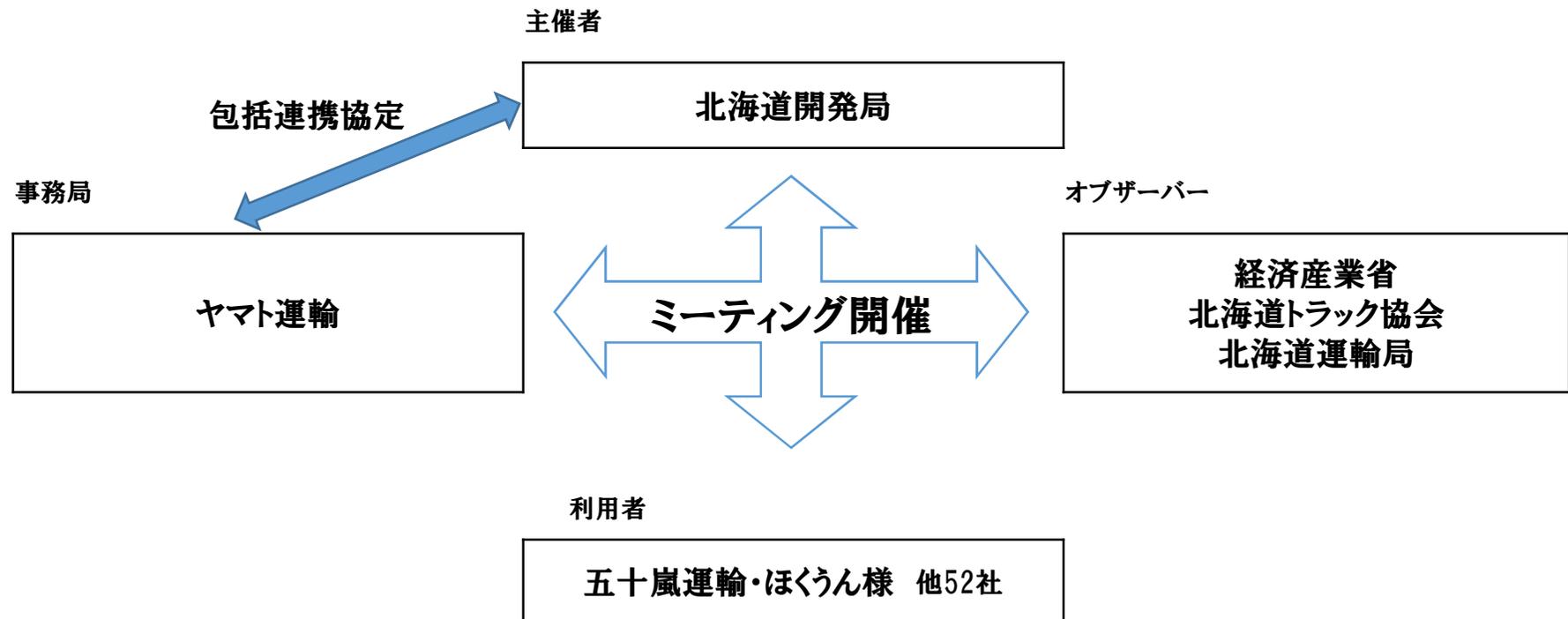
### リレイブレイス北海道 イメージ図

- ◎ 実証実験から実運用の実現に向けて<リレイブレイス北海道>中継輸送専用施設(一時保管、積み替え、休憩室完備の物流施設) 完成に向け、北海道開発局・ヤマト運輸などの施設などを中継ポイントとした運用

**官民合同の実運用を目指してプロジェクトを始動**



### 3.リレイプ्रेस北海道 官民合同プロジェクト



# 4.リレイブレイス北海道トライアル開始に向けて

## 【リレイブレイス北海道リリースに向けて】

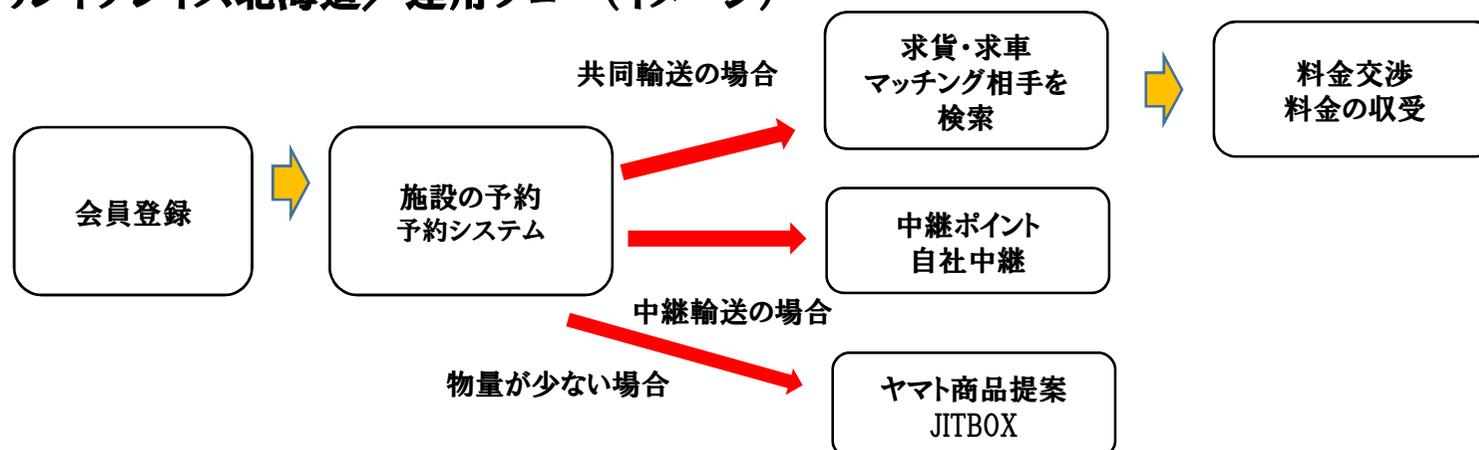
### リレイブレイス北海道ロードマップ案

	2023年度												2024年度								最終目標			
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月					
ヤマト運輸 (事務局)	アウトフレーム構築 ・トライアル業者選定 ・トライアル場所の調査			中継輸送に参加希望輸送事業者へ訪問 中継ポイントの選定  コネクエリア浜松視察 コネクパークینگ宮島視察								10月～2月 名寄北IC 実証実験		リレイブレイス リリース		新会社RPHの支援 システム完成 中継輸送の確立と進化 輸送業者・加工業者 の事業維持・継続に 貢献する								
北海道 開発局 (主催者)	中継輸送実証実験計画 ・実証実験内容の整理 ・トライアル場所の確定 (道の駅・ヤマト施設・その他公共施設)			R5年度実証実験スタート 効果測定 課題整理								10月～2月 名寄北IC 実証実験		シンポジウム 開催		リレイブレイス施設の維持管理 (施設修繕・除雪対応 等)								
経済産業省 トラック協会 (オブザーバー)	リレイブレイス北海道への検討												労基法改正											
ほくろん 五十嵐 パートナー会社 他54社 (利用者)	リレイブレイス北海道への検討												10月～2月 名寄北IC 実証実験		リレイブレイス リリース									
地方 輸送事業者 荷主 (利用者)	リレイブレイス北海道への検討												10月～2月 名寄北IC 実証実験		リレイブレイス リリース									
課題	ヤマト・道の駅施設使用アプリ の作成費用、使用料の確定 システム実装場所確定 (参加事業者ヒアリング調査)				参加事業者の困り込み方法 最適な中継拠点場所 適正な運用スキーム (運用単価・運行管理・補償内容)				施設規模確定 ・運用事業者選定 ・本運用開始時期 (リレイブレイス設立時期)															

## 5.リレイプレイス北海道の概要イメージ

- ◎ 利用施設 ・ 「道の駅」「ヤマト運輸施設」「公共施設」「高速道路SA」など ※現地の承諾後決定
- ◎ 中継輸送 ・ 予約システム(実証実験時に使用済み)にて指定中継場所を利用し中継を実施
- ◎ 共同輸送 ・ マッチングアプリ(開発検討中)またはアナログ(商談)で中継先相手を検索し共同輸送を実施  
例) 買い手…〇～〇まで輸送可 料金〇～〇円  
売り手… 〇～〇まで運んで欲しい 希望金額〇円  
※ マッチングアプリ開発が実現するまではヤマト運輸が相手を探し料金、時間など詳細を対応

### リレイプレイス北海道／運用フロー(イメージ)



## 6.リレイブレイス北海道の特徴

- 多様な中継輸送（シャーシ交換、貨物の一時保管、積み替え）全て可能となり幅広いニーズに対応
- 会員制にすることで、施設利用予約システムや求貨・求車システムが利用でき、運送会社・運転手の情報共有も可能
- 多くの運送会社が共同輸送・中継輸送を利用しやすくなることで、北海道の生活空間の維持に繋がる

利用概要		利用施設・システム等		利用施設毎のサービス可否・他事例比較				
				リレイブレイス北海道			コネク エリア 浜松	コネク パーキング 宮島
				道の駅・ 除雪ST	民間事業者 施設	専用施設		
①中継施設の 提供	中継輸送の専用スペース、貨物一時保管施設、 ドライバーの休憩施設を提供	中継輸送 専用 スペース	トラクタ交換	○	○	○	○	○
			ドライバー交替	○	○	○	○	○
			貨物積替	×	△	○	×	×
	道の駅・除雪ST等では、個々の施設特性に応じ て提供する施設が変動		貨物一時保管施設	×	△	○	×	×
	民間事業者施設、専用施設では、全てのサービ スが利用可能		ドライバーの休憩施設	△	△	○	○	○
②中継施設の 利用予約	事前に中継輸送の専用スペースの利用予約をバ ソコン、スマートフォン等を通じて実施	施設利用予約システム		○	○	○	○	○
	同一事業者間での中継輸送など、中継輸送を行 う相手車両が既に決まっている場合などは、専 用スペースの利用予約のみを実施							
③事業者間 マッチング	中継輸送を行う相手車両が決まっていない場合 など複数事業者間の中継輸送をマッチング	求貨・求車システム		○	○	○	×	×
	マッチングする事業者は、物流事業者間に加え て、荷主と物流事業者間も対象							7

## 7.リレイプ्रेस北海道の運用(例)

- ※ リレイプ्रेस北海道が実現するまでのトライアル
- ※ ヤマト運輸を利用する場合、道の駅専用スペース同様の運用(会員のみが利用可能)
- ※ 時間、時季により利用出来ない場合があります

- 専用予約制度 システムで施設利用予約が可能
- ヤマト運輸施設(営業所・ベース)を利用…積み替え作業が行える、運送会社の規模を問わず利用可能

### 候補地(案)

ヤマト運輸施設(道東ベース・道北ベース・滝川営業所・名寄営業所・倶知安営業所)・道の駅・除雪ステーションなど

例

